



2019年10月29日

各 位

会 社 名 石光商事株式会社
 代表者名 代表取締役社長 石脇 智広
 (JASDAQ・コード2750)
 問合せ先 取締役管理部門長 吉川 宗利
 (電話番号 078-861-7791)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年5月15日に公表いたしました2020年3月期第2四半期累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日)及び通期(2019年4月1日～2020年3月31日)の業績予想について、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期第2四半期累計期間の業績予想数値の修正(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想(A)	19,449	203	184	125	16円32銭
今回修正予想(B)	18,633	99	65	58	7円65銭
増減額(B-A)	△815	△104	△119	△66	—
増 減 率	△4.2%	△51.1%	△64.5%	△53.1%	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	19,107	192	216	152	19円84銭

(2) 個別

(単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想(A)	19,210	187	123	16円96銭
今回修正予想(B)	18,451	99	73	9円49銭
増減額(B-A)	△758	△88	△49	—
増 減 率	△4.0%	△47.2%	△40.6%	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	18,920	176	118	15円40銭

2. 2020年3月期通期業績予想数値の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

（1）連結

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	40,105	646	615	394	51円15銭
今回修正予想（B）	37,903	350	262	170	22円06銭
増減額（B－A）	△2,202	△296	△353	△224	—
増減率	△5.5%	△45.8%	△57.4%	△56.9%	—
（ご参考）前期通期実績 （2019年3月期）	38,549	573	591	413	53円63銭

（2）個別

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	39,593	508	338	43円90銭
今回修正予想（B）	37,409	198	142	18円44銭
増減額（B－A）	△2,184	△310	△196	—
増減率	△5.5%	△61.0%	△58.0%	—
（ご参考）前期通期実績 （2019年3月期）	38,137	480	347	45円10銭

3. 修正の理由

（1）連結

連結の第2四半期累計期間及び通期の業績予想については、主として「（2）個別」の修正の理由によるものですが、加えて持分法適用会社の業績不振に伴い、営業外費用に持分法による投資損失を見込んだ結果、当初予想を下回る見込みであります。

（2）個別

個別の第2四半期累計期間の業績予想について、売上高は、農産加工品において、顧客指定の冷凍倉庫スペースひっ迫の影響により冷凍筍の販売が減少し、生鮮野菜においても国産の春夏野菜の豊作により輸入生鮮野菜のレタス、人参等の販売が減少いたしました。また、輸出において、前期を上回る売上高は確保しているものの、営業体制の基盤構築が遅れ新規顧客の獲得が進みませんでした。その結果、当初予想を下回る見込みであります。

利益面は、物流センター改修に伴う修繕費の計上、取引先の財政状態に鑑みて貸倒引当金繰入の計上、わが国物流事情の影響を受けた想定以上の物流コスト上昇の結果、販売費及び一般管理費が増加することにより、当初予想を下回る見込みであります。

通期の業績予想について、売上高は、北海道産を中心に国産玉ねぎの豊作が見込まれ、その影響等により引き続き輸入生鮮野菜の販売が減少する見通しであります。当社といたしましては、今後天候に左右されないビジネスの検討に取り組んでまいります。

利益面は、物流関連コストの上昇が引き続き影響することにより、当初予想を下回る見込みであります。

なお、売上高について、前期に比べ減少となっておりますが、主としてコーヒー・飲料部門において、コーヒー相場の下落及び円高の影響に起因するものであり、当初予想にも織り込み済みであります。

また、物流コストについては喫緊の課題として、専門部署を設置し、最適な物流体制の構築及び在庫管理の一層強化など、コスト上昇の対応に取り組んでおります。

なお、今回の業績予想の修正に伴う期末配当予想に変更はありません。2019年5月15日に公表いたしました予想（1株12円）を据え置くことといたします。

※ 上記業績予想値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる場合があります。

以 上